



Japan Society for Bioscience,
Biotechnology, and Agrochemistry

2014.8

会告

カレンダー・・・K-1
お知らせ・・・K-3
支部だより・・・K-4

CALENDAR カレンダー

会
告

期 日	講演・会合等名称（会場）、《共催等》、太字＝本会関連
2014年（平成26年）	
8/3～5（日～火）	第4回高校生バイオサミットin鶴岡（鶴岡）《後援》
8/5～7（火～木）	国際カルノシン・アンセリン学会（星薬大）《後援》
8/7～8（木～金）	日本ゾルゲル学会第12回討論会（つくば）《協賛》
8/7～8（木～金）	第28回キチン・キトサンシンポジウム（順天堂大）《協賛》
8/8～9（金～土）	第19回日本病態プロテアーゼ学会学術集会（大阪）
8/10～12（日～火）	第33回日本糖質学会年会（名大）《共催》
8/21～23（木～土）	第8回レドックス・ライフイノベーション第170委員会（宮崎）
8/27（水）	文部科学省創薬等支援技術基盤プラットフォーム公開シンポジウム（東京）《後援》
8/27～28（水～木）	第27回におい・かおり環境学会（文京学院大）《協賛》
8/30（土）	食品酵素化学研究会第14回学術講演会（阪府大）
9/1（月）	日本食品衛生学会第17回特別シンポジウム（東京）
9/2～6（火～土）	第27回国際ポリフェノール会議2014（名大）《共催》
9/3～5（水～金）	第65回コロイドおよび界面化学討論会（東京理科大）《協賛》
9/3～5（水～金）	JASIS2014（幕張）《後援》
9/4～5（木～金）	第67回日本酸化ストレス学会学術集会（同志社大）
9/4～5（木～金）	第28回カロテノイド研究談話会（石川）《協賛》
9/4～6（木～土）	第23回日本バイオイメージング学会学術集会「公開講座」並びに「学術講演会」（阪大）《協賛》
9/5～6（金～土）	第12回高付加価値食品開発のためのフォーラム（裾野）《協賛》
9/5～7（金～日）	栄養学若手研究者の集い第48回サマーセミナー（福井）
9/9（火）	フルオラス科学研究会第7回シンポジウム（札幌）
9/10～12（水～金）	第44回複素環化学討論会（札幌）《共催》
9/10～13（水～土）	2014年度日本冷凍空調学会年次大会（佐賀大）《協賛》
9/11～12（木～金）	第31回シクロデキストリンシンポジウム（島根）《共催》
9/11～12（木～金）	第59回リグニン討論会（福井工大）《共催》
9/12（金）	第24回イソプレノイド研究会例会（岡山大）《協賛》
9/17（水）	プロテイン・アイランド・松山国際シンポジウム2014（愛媛大）《後援》
9/18～19（木～金）	平成26年度日本農芸化学会西日本支部大会（佐賀）
9/19～20（金～土）	2014年度日本農芸化学会関西支部大会（第486回講演会）日本農芸化学会創立90周年・関西支部創立80周年記念大会（奈良、奈良先端大）
9/20～22（土～月）	第58回香料・テルペンおよび精油化学に関する討論会（和歌山大）《共催》
9/22～24（月～水）	平成26年度日本農芸化学会北海道・東北合同支部大会（北大、札幌）
9/24～28（水～日）	12th International Symposium on Cytochrome P450 Biodiversity and Biotechnology（京都）《後援》
9/26～9/27（金～土）	学会創立90周年記念日本農芸化学会2014年度中四国支部大会（第40回講演会）（徳島大）
9/28～30（日～火）	第50回記念熱測定討論会（阪大）《共催》
10/11（土）	日本農芸化学会創立90周年・中部支部創立60周年記念 日本農芸化学会中部支部第171回例会（名大）
10/15～17（水～金）	第62回レオロジー討論会（福井）《協賛》
10/15～17（水～金）	2014地球環境保護 土壌・地下水浄化技術展（東京）《協賛》
10/15～17（水～金）	第56回天然有機化合物討論会（高知）《共催》

期 日	講演・会合等名称（会場）、《共催等》、太字＝本会関連
10/22～24（水～金）	第51回ペプチド討論会（徳島大）《協賛》
10/24（金）	千里ライフサイエンスセミナーF3—免疫・感染症シリーズ第5回—「話題のウイルス感染症の正体とその対策」（大阪）
10/27（月）	第20回名古屋メダルセミナー（名大）《協賛》
10/28～29（火～水）	The 3rd International Symposium on Chemical Biology of Natural Products: Target ID and Regulation of Bioactivity（大阪）《協賛》
10/30～31（木～金）	第50回X線分析討論会（東北大）《協賛》
10/31（金）	大豆のはたらき in 仙台—食を通して健やかな人生を—（仙台）《後援》
11/4～5（火～水）	第55回機器分析講習会第3コース「MSの分析化学への活用に関する基礎講座」（東京）《協賛》
11/4～6（火～木）	第53回NMR討論会（阪大）《共催》
11/6～7（木～金）	第13回食品レオロジー講習会—初心者のための実習と基礎—（仮題）（東大）《協賛》
11/7～8（金～土）	第19回静岡健康・長寿学術フォーラム（沼津）《後援》
11/8（土）	日本ラクトフェリン学会第6回学術集会（つくば）
11/8～9（土～日）	第19回日本フードファクター学会（JSoFF 2014）（鹿児島大）
11/13～14（木～金）	第42回構造活性相関シンポジウム（熊本）《後援》
11/14（金）	日本希土類学会第32回講演会（東京）《協賛》
11/14～15（金～土）	第47回酸化反応討論会（崇城大）《共催》
11/15～16（土～日）	第14回糸状菌分子生物学コンファレンス（東北大）
11/22～24（土～月）	第55回高圧討論会（徳島大）《協賛》
11/24～26（月～水）	アジア環境化学国際会議（International Conference of Asian Environmental Chemistry 2014）（タイ）《後援》
11/27～28（木～金）	第37回情報化学討論会（豊橋）《共催》
11/27～29（木～土）	第41回有機典型元素化学討論会（宇部）《共催》
12/8～10（月～水）	第41回炭素材料学会年会（福岡）《協賛》
12/17～19（水～金）	Active Enzyme Molecule 2014（富山）《後援》
2015年（平成27年）	
1/19～20（月～火）	第26回高分子ゲル研究討論会（東大）《協賛》
3/26～29（木～日）	日本農芸化学会2015年度（岡山）大会（岡山、岡山大）
5/14～18（木～月）	第12回アジア栄養学会議（The 12th Asian Congress of Nutrition）（ACN2015）（横浜）《後援》

メールアドレス登録のお願い

本会では、メーリングシステムとWEBによる会員名簿の整備を進めております。このシステムのいっそうの充実を図るため、会員の皆様方にはメールアドレスのご登録をお願いしたいと存じます。

本会庶務係（shomu@jsbba.or.jp）まで、氏名、登録用メールアドレス

ドレスをお送り下さいますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

会員情報システムを通じて登録、閲覧される情報はSSL暗号化通信によって外部からの盗聴を防いでおります。

！ 農芸化学会 からの お知らせ

本会告ページは、「化学と生物」2015年1月から掲載を停止いたします。1月以降の会告につきましては、本会ホームページに掲載いたしますので、そちらをご覧くださいようお願い申し上げます。

2015年度（平成27年度）大会のお知らせ

日本農芸化学会2015年度（平成27年度）大会を下記の予定で開催いたします。

岡山で初めての大会開催です。全国各地から大勢参加ください。

会 期：2015年（平成27年）3月26日（木）～29日（日）

会 場：

【授賞式／受賞講演／農芸化学「化学と生物」シンポジウム／懇親会】

2015年3月26日（木）

ホテルグランヴィア岡山（〒700-8515 岡山市北区駅元町1番5, <http://granvia-oka.co.jp/access/>）

【一般講演・展示会・シンポジウム・ランチョンセミナー・ジュニア農芸化学会等】

2015年3月27日（金）～29日（日）

岡山大学津島キャンパス（〒700-8530 岡山市北区津島中, http://www.okayama-u.ac.jp/tp/access/access_4.html）

『岡山大学では敷地内禁煙が実施されています。学会参加者の皆様のご理解とご協力よろしくお願いいたします。』

一般講演申込（要旨投稿）WEB受付期間：2014年11月4日（火）～2014年12月8日（月）正午（予定）

大会参加申込WEB受付期間：2014年11月4日（火）午後～2015年2月10日（火）正午（但 事前割引料金）（予定）

当日参加申込WEB受付期間：2015年2月10日（火）午後～2015年3月29日（日）正午（但 正規料金）（予定）

プログラム集（冊子体発行）：2015年2月25日（水）

講演要旨集（WEB上での公開）：2015年3月5日（木）

大会実行委員会：〔委員長〕稲垣賢二（岡山大学大学院環境生命科学研究科）〔副委員長〕上村一雄（岡山大学大学院環境生命科学研究科）〔総務代表〕神崎 浩（岡山大学大学院環境生命科学研究科）

問合せ先：2015年度大会実行委員会

総務代表 神崎 浩 hkanzaki@okayama-u.ac.jp

本会推薦による賞・助成金情報

現在、本会では下記の賞・助成金の本会推薦候補者を募集しています。適任者がおられましたら奮ってご応募ください。本会授賞選考委員会で選考し、推薦いたします。

賞・助成の詳細につきましては、当募集団体ホームページをご覧ください。

また、本会ホームページの賞・助成金情報（<http://www.jsbba.or.jp/info/grant/>）もご覧ください。

【賞】

- 平成26年度上原賞（8/5締切）
- 第31回井上學術賞（8/20締切）
- 平成26年度島津賞（8/29締切）
- 第4回三島海雲學術賞（8/29締切）
- 第23回木原記念財団學術賞（8/29締切）
- 第36回沖縄研究奨励賞（8/29締切）
- 第46回内藤記念學術振興賞（9/1締切）
- 第55回東レ科学技術賞（9/10締切）

【助成】

- 第46回内藤海外学者招聘助成金（9/1締切）
 - 第55回東レ科学技術研究助成（9/10締切）
- 《問合せ・応募先》〒113-0032 東京都文京区弥生2-4-16 学会センタービル内
日本農芸化学会事務局授賞係
Tel. 03-3811-8789 Fax. 03-3815-1920
E-mail: shomu@jsbba.or.jp

第42回研究奨励金交付候補者募集要項

対 象：農芸化学諸分野における意欲的な研究. 1件1名
としますが、共同研究者を含めても差し支えありません。

奨励金の金額：1件50万円以内、5件（総額250万円）

応募方法：所定の用紙（4ページ）に必要事項を記入のうえ、
当財団あてに郵便にてご送付ください、推薦書は必要あ
りません。

応募の締切：2014年10月31日（金）消印有効

奨励金の交付：2014年12月

奨励金受領者の義務：

（1）受領者は、奨励金の収支に関する書類を整理保管し、

2016年4月末日までに、収支報告書を理事長宛に提出す
ること。

（2）受領者は、2016年4月末日までに研究報告を理事長
宛に提出すること。

応募用紙の請求先および送付先：

〒113-0032 東京都文京区弥生2-4-16

学会センタービル2階

公益財団法人農芸化学研究奨励会事務局

Tel. 03-3811-8789, Fax. 03-3815-1920

E-mail: acrf_info@jsbba.or.jp

小学校・中学校・高等学校への出前授業募集

このたび、本会広報委員会では、小学
校・中学校・高等学校への出前授業を開始
いたします。学校関係者の皆さま、たくさ
んのご応募をお待ち申し上げます。

趣 旨：日本農芸化学会の会員（科学者や
知識人など）が、講師として小・中・高
等学校へ出向き、農芸化学（動物・植
物・微生物の生命現象、生物が生産する
物質、食品と健康などを化学的な考え方
に基づき研究する学問）にかかわる授業
を、最先端の研究内容の紹介などを含め

ながら、講義・実験・演習を通して有意
義に学びます。

授業対象：小学生・中学生・高校生、教員
の団体ほか

付帯事項：講師派遣料は本会負担（ただし
必要な備品などはご準備いただきます）

授業時間：1～2コマ授業（1コマ45分）

授業形態：クラス単位（複数クラス可）

対象地区：日本全国（北海道、東北、関東、
中部、近畿、中国四国、九州地区）

申込方法：申請書を郵送またはメール添付

（PDF）にてお申込みください。申請書受
付後、本会で調整し、派遣講師と授業内
容をお知らせします。

申請書請求・問合せ先：日本農芸化学会事
務局広報係 東京都文京区弥生2-4-16
学会センタービル2階

Tel. 03-3811-8789

E-mail: soumu@jsbba.or.jp

その他：申込多数の場合は個別に相談のう
え、適宜実施させていただきます。

会費の領収書について

会費の領収書は本会ホームページの会員
Mypage (<https://jsbba.bioweb.ne.jp/mypage/>) からダウンロードできます。領

収書がご入用の方は、上記ページにログイ
ンし、ご自身の会費領収書をダウンロード
していただきますようお願いいたします。

問合せ先：日本農芸化学会事務局会員係

東京都文京区弥生2-4-16 学会セン
タービル2F

Tel. 03-5803-9561

E-mail: kaiin@jsbba.or.jp

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆
**新入会・登録情報変更などの
URLについて**

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆
新規入会、登録情報確認・変更のURL
は下記のとおりです。

登録情報を確認、変更される場合、会員
ID（会員番号）とパスワードが必要です。

ご登録いただきました会員データに基づ
き学会誌の発送、会費・購読料の請求を

行っておりますが、登録データは外部に漏
れることがないように十分注意を払っており
ます。

会員登録の変更につきましては、Web
上では変更できない箇所も定めております
ので、E-mailまたはFaxでも受け付けてお
ります。

この際、登録内容をご確認いただき、
E-mailなどご登録いただいていないよう
でしたら是非ご登録下さいますようご協力く

ださい。

[日本農芸化学会ホームページURL]

<http://www.jsbba.or.jp/>

なお、パスワードを紛失された場合は
「パスワード再発行」を行ってください。
取得されたパスワードを独自のパスワード
に変更する場合は「パスワードの変更」で
手続きすることができます。

《事務局会員係》Tel. 03-5803-9561, Fax.
03-5803-9562, E-mail: kaiin@jsbba.or.jp



支部だより

**平成26年度日本農芸化学会
西日本支部大会**

期日：2014年9月18日（木）～19日（金）
会場：HOTEL グランデはがくれ（シンボ
ジウム・特別講演・懇親会）
佐賀大学農学部（一般講演）

実行委員長：神田康三（佐賀大学農学部）
シンポジウム：「ファージ研究の新展開」
松崎茂展（高知大学医学部）「バクテリオ
ファージ療法の現状と可能性」、大塚裕一
（獨協医科大学）「ファージ療法・もう一つ
のチャレンジ」、土居克実（九州大学大学院
農学研究院）「極限環境ファージの特性ー
ゲノム構造から展開する生命進化と産業応
用ー」

特別講演：村田 晃（佐賀大学農学部名誉
教授）「有用嫌気性細菌におけるファージ

研究のあゆみ」

一般講演：演題申込締切：2014年7月11日
（金）、講演要旨締切：2014年8月8日（金）
詳細は支部ホームページ (<http://www.kyushu-u.ac.jp/jsbba-west/>) をご覧ください。
問合せ先：九州大学大学院農学研究院（角
田佳充）Tel. & Fax. 092-642-2854

2014年度日本農芸化学会関西支部 大会 (第486回講演会) 日本農芸化学会創立90周年・ 関西支部創立80周年記念大会

日時：2014年9月19日(金) 13:00～18:30,
9月20日(土) 9:30～17:30

場所：第1日目 東大寺総合文化センター
金鐘ホール(奈良市水門町100), 第2日目
奈良先端科学技術大学院大学(生駒市高山
町8916-5)

プログラム：第1日目・シンポジウム「食
と生命を科学して80周年～そして未来へ」
(13:00～18:30)「祝賀挨拶」(清水 誠, 日
本農芸化学会会長), 「健康を守るトランス
ポーターABC蛋白質」(植田和光, 京都大
学・iCeMS・農学研究科), 「肥満・エネル
ギー代謝と食品機能」(河田照雄, 京都大学・
農学研究科), 「ビッグデータバイオロジー
としての生態学と医食同源の体系化」(金谷
重彦, 奈良先端科学技術大学院大学・情報科
学研究科), 「ポリフェノールサイエンスへ
の挑戦と創造」(辻村英雄, サントリーホー
ルディングス), 「酒は百薬の長」を実証す
る 清酒およびその副産物の機能性」(秦
洋二, 月桂冠), 特別講演「食品機能研究
30年の回顧と展望—その光と闇」(吉川正
明, 京都大学名誉教授・生産開発科学研究
所), 2014年度日本農芸化学会賞受賞特別
講演「酸化還元酵素・電極共役系を基盤と
した生物電気化学研究の展開」(加納健司,
京都大学・農学研究科), 「支部長挨拶」(内
海龍太郎, 関西支部長)・懇親会(奈良国立
博物館地下レストラン19:00～20:30)

第2日目・一般講演, 2014年度日本農芸化
学会功績賞受賞特別講演「食品製造におけ
る速度過程が関与する現象の工学的解析」
(安達修二, 京都大学・農学研究科), 「植物
機能高度活用のための分子基盤開発」(横
田明穂, 奈良先端科学技術大学院大学・バ
イオサイエンス研究科)

参加・講演申込方法：詳細は<http://www.kansai-jsbba.jp/>をご覧ください。

参加費：無料

懇親会費：事前参加申込 一般3,000円,
学生無料, 当日申込 一般5,000円, 学生
1,000円

講演申込締切：2014年8月11日(月)

講演要旨締切：2014年8月18日(月)

事前参加申込締切：2014年8月31日(日)

連絡先：奈良先端科学技術大学院大学バ
イオサイエンス研究科 高木博史(Tel. 0743-
72-5420, E-mail: jsbba-kansai@bs.naist.jp)

平成26年度 日本農芸化学会北海道・東北 合同支部大会

日時：2014年9月22日(月) 13:30～9月

23日(火・祝) 15:00頃まで

場所：北海道大学農学部大講堂ほか

特別講演：9月22日(月) 13:30～15:00
宮澤陽夫教授(東北大院農)「分析化学を基
盤とした食品機能性研究の先導的展開」,
横田 篤教授(北大院農)「有用物質生産菌
の中核代謝強化に関する基盤研究」

特別シンポジウム：「先端技術で探る生命
現象」代表世話人 高橋公咲(北大院農)
9月22日(月) 15:00～17:00

講演者：菅 敏幸教授(静岡県立大薬), 川
上 勝准教授(山形大工), 小松節子(上席研
究員(農研機構 作物研究所), 篠原康郎特
任教授(北大院先端生命)

9月23日(火・祝) 一般講演 9:30～12:00,
13:30～15:00頃

ポストシンポジウム：「若手の会」

9月23日(火) 16:00頃～9月24日(水) 行
き先：定山溪温泉ビューホテル

参加費は一般10,000円, 学生5,000円の予定
です。一般講演演題募集, 若手の会の詳細は
ホームページ上 (<http://www.agr.hokudai.ac.jp/jsbba/>) お知らせいたします。

連絡先：農芸化学会北海道支部 支部庶務
幹事 和田 大

〒060-8589 札幌市北区北9条西9丁目

Tel. 011-706-4185, Fax. 011-706-4961

E-mail: JSBBA_Hokkaido@agr.hokudai.ac.jp

学会創立90周年記念 日本農芸化学会2014年度中四国 支部大会 (第40回講演会)

開催日：2014年9月26日(金)～9月27日(土)

会場：徳島大学常三島キャンパス(〒770-
8502 徳島県徳島市南常三島町1-1, JR徳島
駅から徒歩20分)

プログラム：

9月26日(金) 13:00～13:30, 支部功労
賞, 奨励賞並びに技術賞授賞式; 13:30～
14:10, 2014年度日本農芸化学会農芸化学
技術賞受賞講演; 14:10～14:30, 第2回
(2014年)日本農芸化学会支部技術賞受賞
講演; 14:30～15:10, 2014年度日本農芸化
学会支部奨励賞受賞講演; 15:20～17:50,
シンポジウム『食と健康』(日本動物細胞工
学会と共催)

「地中海食資源の機能性解析と有効利用」
磯田博子(筑波大・北アフリカ研究セン
ター), 「アンチエイジング食品の探索とそ
の機能性の分子メカニズム」片倉喜範(九
大・農), 「ポリフェノールの生体利用性と
高機能化戦略」寺尾純二(徳島大・HBS研
究部), 特別講演：「機能性食品と腸管機
能」清水 誠(東農大・応用生物)

9月27日(土) 9:30～, 一般講演; 12:00～
12:50, 支部参与会

参加費：無料

懇親会：阿波観光ホテル, 会費8,000円(予
定)

懇親会申込：nouka2014@bio.tokushima-u.
ac.jp

世話人・問合せ先：徳島大学大学院ソシオ
テクノサイエンス研究部 大政健史

Tel. 088-656-7408, Fax. 088-656-9148

E-mail: nouka-tokushima@tokushima-u.ac.jp

なお詳細は支部ホームページ (<http://jsbba-cs.jp/>) をご覧ください。

日本農芸化学会創立90周年・ 中部支部創立60周年記念 日本農芸化学会中部支部 第171回例会

ミニシンポジウム・一般ポスター発表

日時：2014年10月11日(土) 13:00～

会場：名古屋大学シンポジオン(名古屋市
千種区不老町)

プログラム：ミニシンポジウム『生物機能を
ひもとくケミカルバイオロジー研究の最前
線』「DNA グアニン四重鎖を標的とするケ
ミカルバイオロジー研究」長澤和夫(東京
農工大学大学院工学府), 「タンパク質膜挿入
の鍵を握る糖脂質」島本啓子(サントリー
生命科学財団), 一般ポスター発表, 懇親会
一般ポスター発表への申込・講演要旨締切:
9月11日(木)

詳細は支部ホームページ (<http://www.agr.nagoya-u.ac.jp/~jsbba/>) をご覧ください。

問合せ先：中崎敦夫(名古屋大学大学院生
命農学研究科)

〒464-8601 名古屋千種区不老町

Tel. 052-789-4109, Fax. 052-789-4111

E-mail: nakazaki@agr.nagoya-u.ac.jp

2014年度(平成26年) 日本農芸化学会 西日本支部奨励賞候補者募集

日本農芸化学会西日本支部では, 本年度に
おきましても農芸化学の進歩に寄与した研
究を顕彰する西日本支部奨励賞(一般; 1
件, 学生; 1件)を公募いたします。奮っ
てご応募ください。応募資格・応募方法・
応募申請書につきましては, 支部ホーム
ページ (<http://www.agr.kyushu-u.ac.jp/jsbba-west/>) でご確認ください。

応募締切：2014年(平成26年)11月7日
(金)まで。

応募書類提出先：〒812-8581 福岡市東区
箱崎6-10-1 九州大学大学院農学研究
院生物化学分野内

日本農芸化学会西日本支部

Tel. & Fax. 092-642-2854(庶務幹事：角
田佳充)

日本農芸化学会 2014 年度大会を顧みて

日本農芸化学会 2014 年度大会（実行委員長 正木春彦 東京大学大学院農学生命科学研究科教授）は、2014 年 3 月 27 日（木）から 30 日（日）までの 4 日間、京王プラザホテルおよび明治大学生田キャンパスを会場として開催された。明治大学生田キャンパスは、東京からは多摩川を渡った神奈川県川崎市の丘陵地にある緑豊かなキャンパスで、農学部と理工学部を有する。明治大学で日本農芸化学会大会を開催するのは初めてのことであったが、明治大学を挙げた協力体制のもと両学部のほぼすべての教室ならびに設備を使わせていただけることとなり、一般講演をはじめとするすべての行事を開催することができた。明治大学には、厚く御礼を申し上げる。

本大会では、昨年度の大会から導入した参加登録の WEB 受付を完全に実施するとともに、参加費の払い込みもクレジットカード決済あるいはコンビニ決済を第一の方法としていただいた。参加者の方には初めてのことで多大なご面倒をおかけすることになったが、参加登録総数 4,500 人ほどのうち参加費を当日現金払いした方は 500 人弱と、予想

以上に高いクレジットカード決済、コンビニ決済の割合であったことに、御礼を申し上げる。

大会初日は、10 時 30 分より京王プラザホテル南館エミネンスホールにて 2014 年度学会賞授賞式ならびに特別表彰が行われた。今年度から技術賞は 4 件まで授与されることになった。また、特別表彰はイグ・ノーベル賞を受賞した熊谷英彦先生ならびに今井真介氏らへ行われたものである。これに引き続いて、学会賞（2 件）、功績賞（2 件）、技術賞（4 件）、奨励賞（10 件）の各受賞者による講演が行われた。収容人員 650 名の講演会場は満席となり、立ち見となった方にはお詫びを申し上げます。その後 18 時より京王プラザホテル本館コンコルドボールルームにて懇親会が開催された。開会にあたっては鏡割りが行われた。この日本酒、ならびにワイン、ビールをご寄贈くださった関係各社に厚く御礼を申し上げます。今回は、東京都、千葉県、神奈川県の日酒を集めたコーナーを設けた。会場は、650 人ほどの参加者の熱気に満ちていた。

大会二日目からは、明治大学生田キャンパスにて、一般



授賞式の様子



生田キャンパス登校路門



懇親会での鏡割り



一般講演会場

講演 (1,986題), シンポジウム (29課題, 173題), ランチョンセミナー (14題), ならびにJABEEランチョンシンポジウムと男女共同参画ランチョンシンポジウムの口頭発表が行われた。男女共同参画ランチョンシンポジウムは今大会で初めて開催した。一般公演からは, 事前審査, 座長による口頭発表の確認を経て27演題にトビックス賞が授与された。ランチョンセミナーには専用の教室を準備することができたので一般講演に支障をきたすことなく運営することができたが, 最終日に雨となり参加者にご不便をかけたのが残念であった。

大会三日目には産学官学術交流委員会フォーラムとミキサーが開催された。フォーラムでは第9回, 第10回, 第11回農芸化学研究企画賞受賞者の最終報告, 中間報告, 企画発表がそれぞれ行われ, イグ・ノーベル賞受賞者の特別講演も行われた。さらに, ポスターディスカッション (9題), シンポジウム口頭発表 (3題) も行われ, 大盛況であった。ミキサーは, 看板による告知は行わなかったのだが, 今大会で始めたTwitterでの情報発信が奏功したか, 盛会であった。

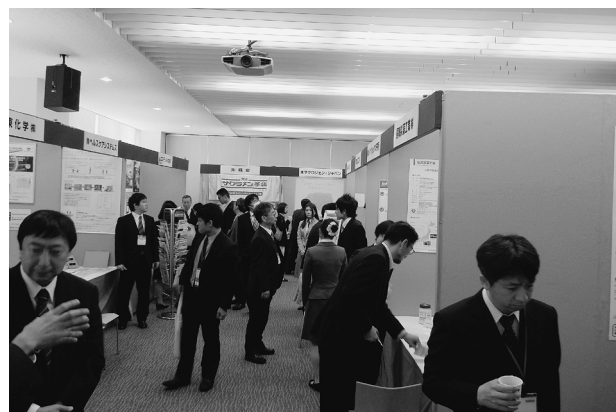
会期中, 展示会が開催された。出展企業 (89社), パイオビジネスアピールエリア (14社) の展示が行われた。昼休み時間を2時間にしたことから展示会場を訪れる人が多く, 出展企業からは「展示を見ていただける時間が多くあって良かった」との評価も得た。

休憩室と展示会会場で飲料などを提供したが, これは, 12社からご寄附いただいたものである。ご支援に厚く御礼を申し上げる。

大会二日目には高校生の研究発表会「ジュニア農芸化学会」が開催された。全国54の高校から226人の発表者を迎えて54題のポスターが展示された。総数約450人が参加し, 高校生の熱心な発表と大会参加者との活発な質疑応答に会場也大いに賑わった。投票の結果, 金賞1件, 銀賞2件, 銅賞3件が選ばれた。今回の大会においても, 本学会の被災地理科教育支援事業 (「復興応援キリン絆プロジェクト」後援) の支援で, 岩手, 宮城, 福島の被災3県から8校 (生徒21人, 引率教員8人) をジュニア農芸化学会に招待した。招聘校による8題の発表があり, 発表終了後には支援目録の贈呈式も行われた。



ランチョンセミナー会場



展示会会場



産学官学術交流委員会フォーラム



ジュニア農芸化学会の受賞者



Frontiers シンポジウムの参加者

大会最終日である30日の夕方からは、茨城県守谷市のセミナーホテルにて農芸化学Frontiers シンポジウムが開催された。今回は、農芸化学会員の学生および若手教員ら約90人の参加があった。6名の講師によるシンポジウムでは、これまでの経験談を交えつつ最先端の研究をご講演いただき、活発な討論が行われた。また、参加者相互の交流会が夜遅くまで行われ、たいへん盛況であった。翌日31日には、エクスカーションとしてアサヒビール守谷工場見学を行った。農芸化学と縁の深い醸造作業から製品化まで、普段目にするものがない工程が実感できる良い機会となった。

最後に、あらためて大会の電子化について述べる。

今大会で本格的にWEBによる事前登録とクレジットカード決済、コンビニ決済のセットでの実行を参加者に求

めた。結果としては、予想をはるかに上回る方々に対応をいただけた。次回の大会でも、当日受付の作業量軽減のために、今回同様に対応していただけることをお願いする次第である。なお、今大会では、大会初日にWEB登録システムに不具合が起き数十人が二重に登録をせざるを得なくなったこと、ならびに大会参加のみの登録者が懇親会に参加するには再度WEB登録を行わなくてはならなかったことは今後の改善課題である。特に後者では、招待者からお叱りを受ける場面も多々あった。

また、発表形式も電子化していくとの学会の方針に従い、口頭発表をPCと液晶プロジェクターによる発表とした。USBメモリからのデータ取り込みではほぼトラブルが起きず、少数のトラブルもPC接続時間というバッファの中で解消することができた。発表形式としての完成形をほぼ得ることができたと言えるのではなかろうか。大会参加者の皆様方からは発表形式のことも含め、大会会場ならびに運営に関して概ね好評をいただき、大会実行委員一同で安堵した。

最後に、本大会の開催にあたり、ご協力をいただいた参加者の皆様方、ならびにご支援をいただいた多くの企業、明治大学、学会事務局の方々にあらためて御礼を申し上げます。

2014年度大会実行委員会総務
日高真誠、渡邊秀典、山川 隆、石神 健、
小川哲弘、森 直紀、浜本牧子、中村 卓

公益財団法人農芸化学研究奨励会からのお知らせ

毎年本誌で公募掲載している各種助成について、助成金受領者報告を、当財団ホームページ (<http://www.jsbba.or.jp/acrf/>) に掲載しております。

■第40回（平成24年度）研究奨励金受領者

5名（所属および職位は交付決定当時のもの）

- | | |
|---|---|
| (1-309)「植物病原細菌においてクオラムセンシングで制御される二次代謝の解明」甲斐建次（阪府大生環・助教） | ペロンの影響の解明」郷田秀一郎（長崎大院工・准教授） |
| (1-310)「転写共役因子による骨格筋アミノ酸代謝制御機構の解明」亀井康富（京府大生環・教授） | (1-312)「イネいもち病菌に対するイネ由来新規生理活性物質の探索」成川（奈良） 恵（東理大理工・嘱託助教） |
| (1-311)「超好熱アーキア由来酵素の活性化に対するシャ | (1-313)「多機能型シトクロムP450モノオキシゲナーゼGfsFの構造機能研究」宮永顕正（東工大院理工・助教） |

■第62回（平成24年度）国際会議出席費補助金受領者

4名（所属および職位は交付決定当時のもの）

- | | |
|---|---|
| (2-371)「第5回欧州微生物会議（7月21日～25日，ライプツィヒ，ドイツ）」大坪和香子（東北学院大院工・研究員）
発表テーマ：活性汚泥から新規に単離した亜酸化窒素還元型脱窒細菌の特性評価 | ルセロナ，スペイン）永井千晶（循環病研セ・流動研究員）
発表テーマ：カイコの神経ペプチドGPCR,BNGR-A24に対するイオン輸送ペプチド様ペプチド（ITPL）とタキキニン（TK）との競争的作用 |
| (2-372)「第3回欧州多糖国際会議（10月21日～24日，ニース，フランス）」田中知成（京工繊大院工芸・助教）
発表テーマ：Chemo-enzymatic Synthesis of Novel Supramolecular Polymer Composed of Polysaccharide（化学-酵素法による新奇な多糖超分子ポリマーの合成） | (2-374)「国際化学生態学会議2013（8月19日～23日，メルボルン，オーストラリア）」野下浩二（秋田県大生資・助教）
発表テーマ：Herbivore-induced leucine-derived nitrile in the evening primrose attracts the predatory shield bug |
| (2-373)「第17回国際比較内分泌学会（7月15日～19日，バ | |